

# 高林小学校前の文具店が…!!

## ～「駄菓子屋の河内屋」オープン～

4月23日(土)高林小学校前に子どもたちがおかあさん、おとうさんと一緒にたくさん集まっていました。

かつて学校前によくあった文具店や駄菓子屋の復活の日。ここ高林小学校前には、かつて「河内屋」という雑貨店がありました。閉店して数十年。この日は、高林寺の君島副住職を代表として地域の有志が力を合わせ、おばあちゃんから子どもたちまで世代を越えた地域の方々が集える場(駄菓子と雑貨と大人のたまり場)として令和時代の「河内屋」がオープンしました。

お客さんのおかあさんに聞いてみますと「子どもたちは今日のオープンを楽しみにしていた。お金の使い方が変わりつつある今の時代ですが、現金の使い方の学習もできます。みんなと話をすることでコミュニケーションも取れて子どもたちにも大人にも良い空間です。」と喜んでいました。

君島さんは、今後もっともっと協力者を募集し、いろいろなことができる世代を越えたスペースにしていきたいと目を輝かせていました。

お店の中にはお菓子を始め、希望者には自作の販売もできるレンタルスペースもあり、夢広がる交流空間です。

ふと目をやるとかつて使っていたソファや棚がそのまま再利用されており、それを見たおかあさん、おとうさん方は瞬時に懐かしいあの頃のアルバムの1ページに戻られた方もいらしたのではないかと思います。

建物は長い年月を経過していて修繕が必要などところがあります。そこは時代の最先端、クラウドファンディングで協力を求めたいと君島さん。みなさんのご協力をお願いします。

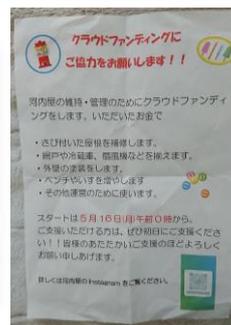
 こうした「居場所」は、人と人をつなぐ重要な社会資源となっていくと思います。我々社協は、こうした「未来を見据えた取り組み」に対し、人と人をつなぐ役割(おそばのつなぎである小麦粉かな～。)を果たしていきたいと考えておりますので、情報をお寄せください。



にぎわう店先の様子



レンタルボックス



クラウドファンディングはこちら



那須塩原市社会福祉協議会



R4.4